DualShock 4のフロントケースの交換

このガイドに従って、デュアルショック4モデルCUH-ZCT1Uコントローラーのフロントケースを...

作成者: Clay Eickemeyer



はじめに

このガイドに従って、デュアルショック4モデルCUH-ZCT1Uコントローラーのフロントケースを交換してください。

ツール:

- Chiffons en microfibre (1)
- Tournevis cruciforme #00 (1)
- Médiators iFixit (1)
- Spudger (spatule antistatique) (1)
- Pincettes de précision (1)

部品:

- DualShock 4 Controller Front Panel (CUH-ZCT1) (1)

手順 1 — コントローラーのモデルを確認



- コントローラーの背面に記載されている型番を確認してください。この修理ガイドは、モデル**CUH-ZCT1U**を使用して作成されています。他の機種をお使いの場合は、ガイドの手順や交換部品が若干異なる場合があります。

第2世代DualShock 4、モデル**CUH-ZCT2U**をお持ちの方は、こちらのガイドをご利用ください。

手順 2 — リアケースのネジを外す





この修理中にコントローラーを安定させるには、マイクロファイバークロスなどの柔らかいものの上に置いてください。

- プラスドライバーを使って、リアケースを固定している、長さ6.4mmネジを4本外します。

手順 3 — L1ボタンを外す







- オープニングピックを使って、L1ボタンの各角をフロントケースからこじ開けます。

ボタンがワークスペースから飛び出さないように、カバーをかけます。

- ボタンを外します。

手順 4 — R1ボタンを外す



- L1ボタンと同じように、オープニングピックでR1ボタンをこじ開けて、取り外します。

手順 5 — リアケースのクリップを外す



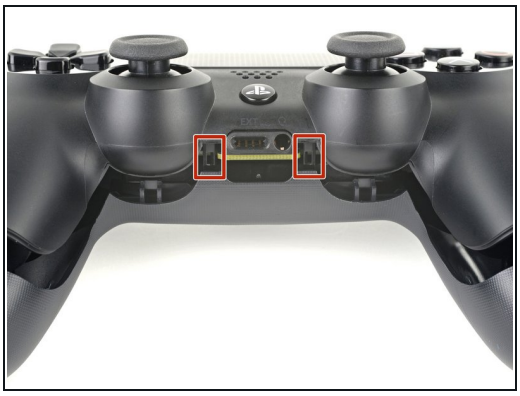




ⓘ 6つのプラスチッククリップが、リアケースをフロントケースに固定しています。次の4つのステップでは、コントローラを開ける前に、これらのクリップを外す方法を説明します。

- フロントケースとリアケースの間、ハンドルとアクションボタンの中間に、オープニングピックを斜め下に差し込みます。
- ピックをハンドル方向にスライドさせ、こじ開けると最初のクリップが外れます。
- この手順をコントローラーの反対側でも繰り返し、2つ目のクリップを外します。

手順 6







- さらに2つのクリップが、拡張ポートとヘッドホンジャックの近くでリアケースを固定しています。
- フロントケースとリアケースの間に、オープニングピックをポートの両脇に差し込みます。
- ピックをひねって、リアケースのこの部分のフロントケースからクリップを外します。

ⓘ リアケースが引っかかる感じがする場合は、ピックをいろいろな角度から挿入してひねってみてください。

⚠ コントローラーは、トリガー付近の2つの非常にデリケートなクリップで固定されているので、ここではまだ開けないでください。

手順 7



最後の2つのクリップは非常にデリケートで、コントローラの内部から外す必要があります。万が一壊してしまっても、この修理やコントローラーの機能には影響しません。

- R2またはL2ボタンの上の隙間から、クリップの位置を確認します。

手順 8







- R2ボタン上の隙間からスパッジャーの先を差し込み、固定クリップを外側に押し出します。
- クリップを外側に押し出しながら、リアケースをフロントケースから離れる感触があるまでゆっくりと引き離します。

  ⚠ R2とL2クリップが外れるまで、コントローラを全開にしないでください。
- この手順をL2ボタン付近のクリップにも繰り返します。

手順 9 — リアケースを外す





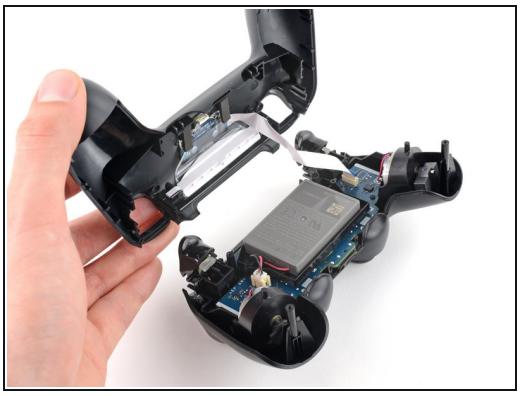
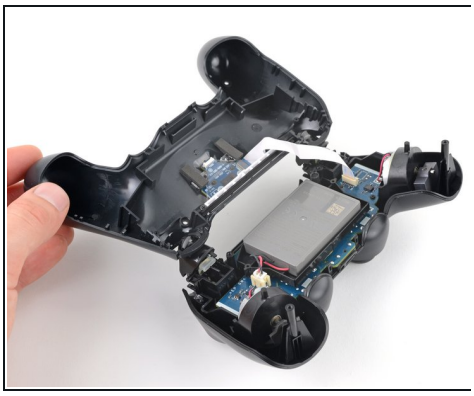
- R2ボタンを押してリアケースをスライドしながら外します。

手順 10



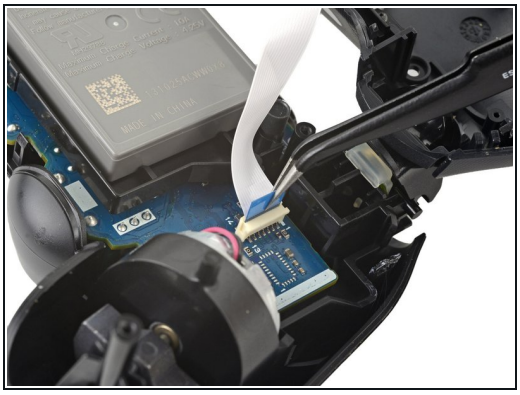
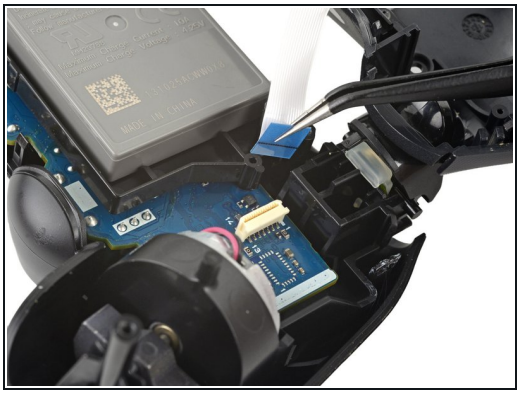
- L2ボタンを押して、リアケースからスライドしながら外します。

手順 11

- リアケースを裏返して、相互接続ケーブルに負担をかけないように注意しながら、コントローラーの上に乗せます。

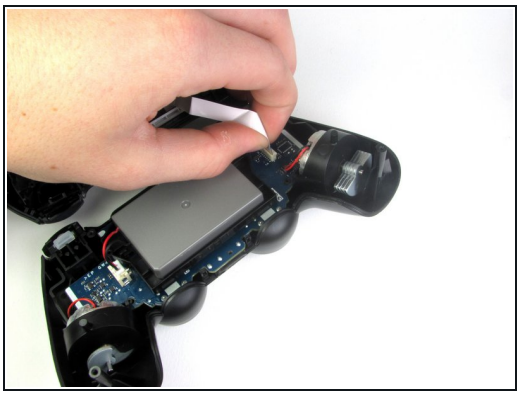
手順 12 — 相互接続ケーブルを外す


- ピンセットまたは指を使って、相互接続ケーブルの青いプルタブを使ってソケットから引き抜いて外します。

再組み立ての際、ケーブルの青いプルタブをコントローラーの外側に向けて、再接続してください。

手順 13 — バッテリー



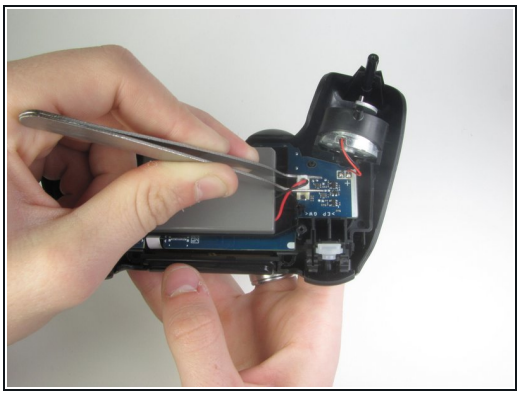
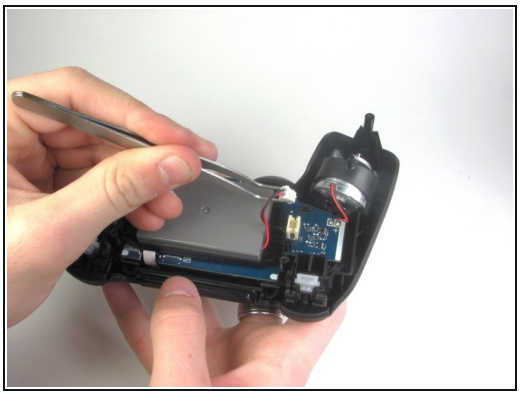
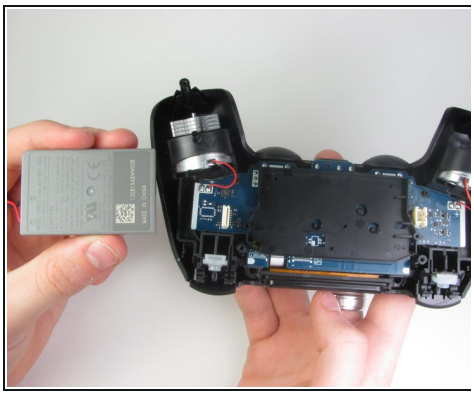


- コントローラの2つのパートを接続している、マザーボードのリボンケーブルを、指で引き抜いて取り外します。

  接続しなおす際には、ケーブルの向きに注意して、正しい方向を向いていることを確認します。

- 2つのパートを分離したら、コントローラのトップパートは脇に置きます。

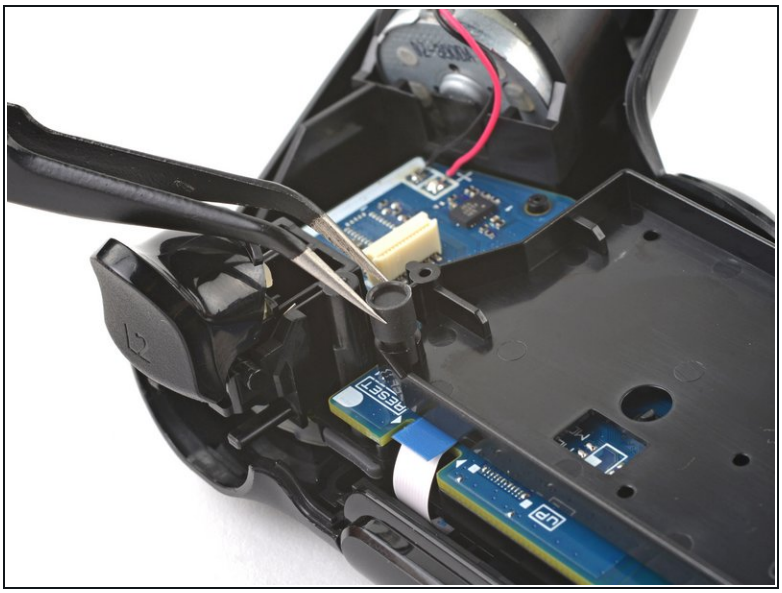
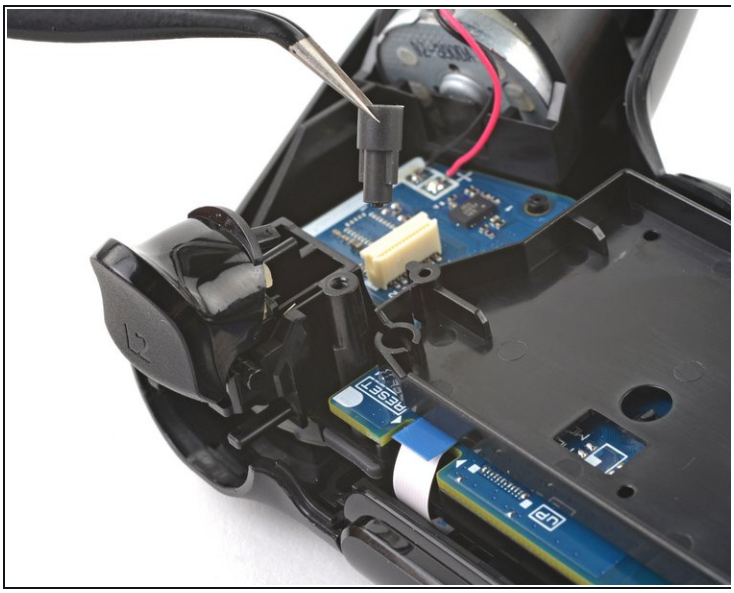
手順 14

- 先端が丸いピンセットを使用して、バッテリープラグをゆっくりと左右に揺らしながらプラグを緩めます。
- マザーボードからプラグを取り外すと、バッテリーを持ち上げてコントローラから分離できます。

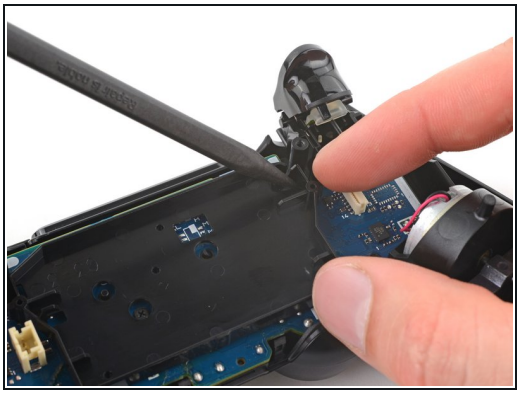
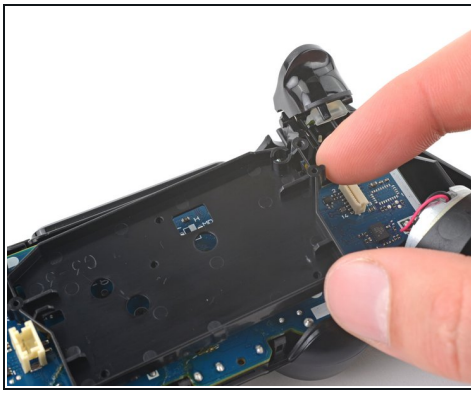
⚠ 慌ててバッテリープラグを取り外すと、プラグのプラスチックのツメが歪んでしまうことがあります。

手順 15 — リセットボタンのエクステンションを外す

- リセットボタンのエクステンションを持ち、バッテリーブラケットの凹部から外します。

手順 16 — バッテリーのブラケットを外す

- バッテリーブラケットをマザーボードに固定している2つのクリップの位置を確認します。
- スパッジャーの先端を右側ブラケットのクリップ裏の開口部に差し込みます。
- クリップを押し出して、マザーボードから外します。
- バッテリーブラケットの右端を持ち上げます。

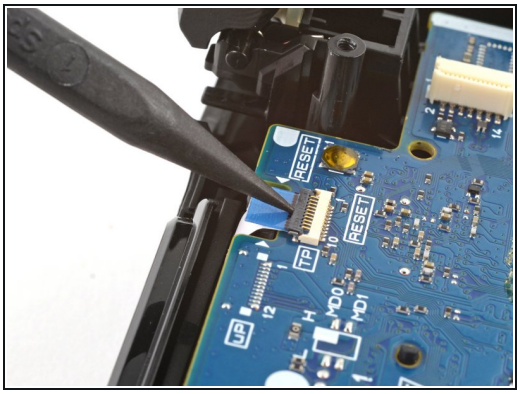
手順 17

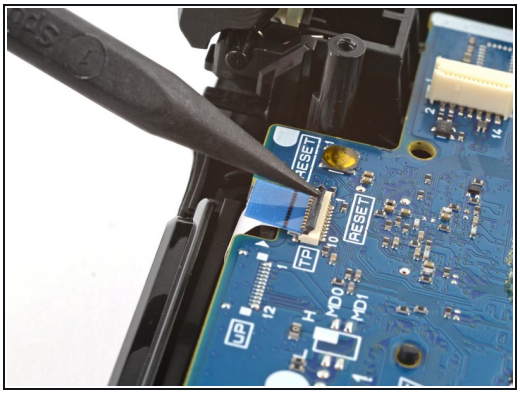


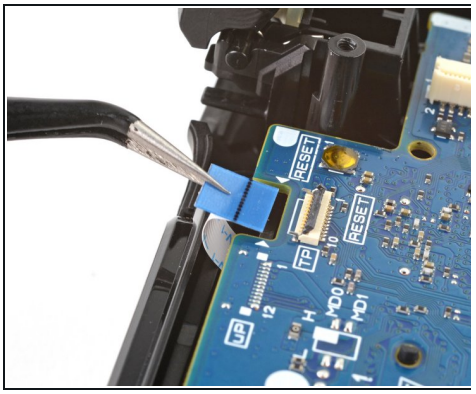


- 左側ブラケットのクリップ裏の開口部にスパッジャーの先端を差し込みます。
- クリップを押し込んで、マザーボードから外します。
- バッテリーブラケットを取り出します。

手順 18 — タッチパッドの接続を外す

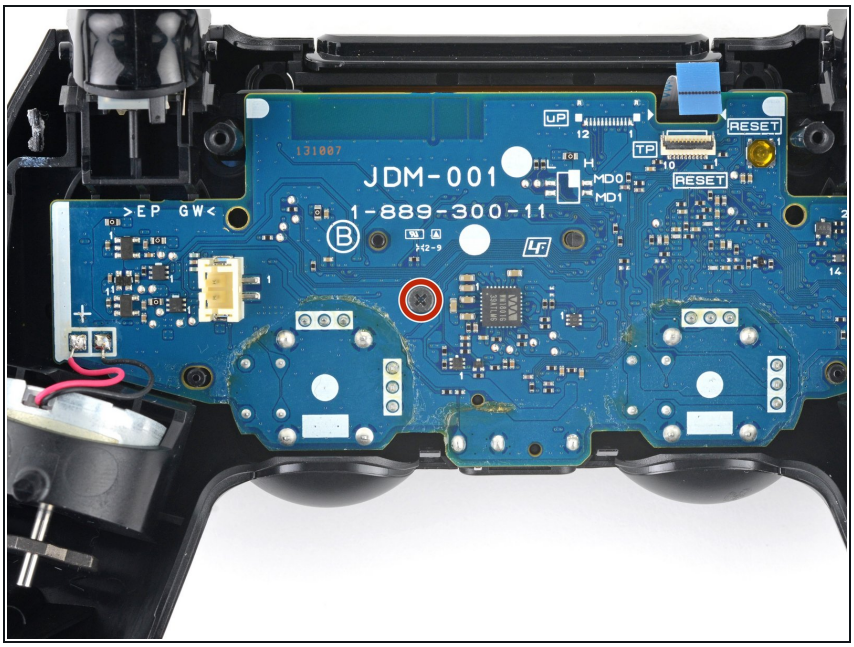






- タッチパッドケーブルのZIFコネクタを固定している固定フラップを、スパッジャーの先端で跳ね上げます。
- ピンセットや指を使って、青いプルタブを利用してケーブルを外します。

手順 19 — マザーボードのネジを外す



- プラスドライバーを使って、マザーボードを固定している6.4mmのネジを外します。

再組み立ての際、マザーボードをフロントケースにしっかりと固定してからネジを締めてください。各ボタンをテストして、シリコンボタンパッドが正しく配置されていることを確認します。各ボタンが期待通りに押されるなら、マザーボードを固定します。

手順 20 — ミッドフレームを外す



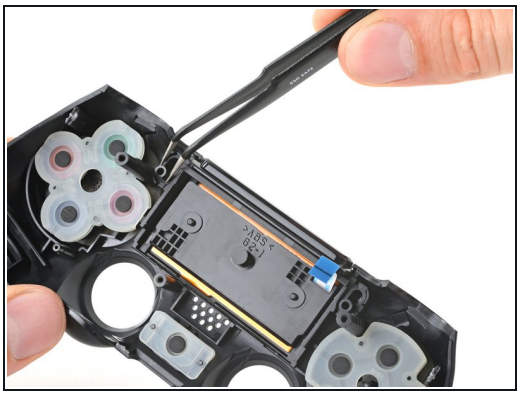


- ミッドフレームのプラスチックの突起もしくは振動モーターを掴んでフレームを外します。

マザーボードとミッドフレームは、振動モーターのケーブルでつながっているだけなので、これらを外さないでください。

再組み立ての際、ミッドフレームを装着する位置を慎重に確認してください。また、タッチパッドケーブルが下に挟まれないよう注意してしてください。

手順 21 — ShareボタンとOptionsボタンを外す





- フロントケースからShareとOptionsボタンを外します。

再組み立ての際、各ボタンを挿入する方法は1箇所のみです。片方が入らない場合は、反転させてもう片方の凹部を試してみてください。

手順 22 — シリコンボタンパッドを外す





- フロントケースのボタンから、3つのシリコンボタンパッドを取り外します。
  - 方向キー用の四角形のパッド
  - アクションボタン用の小さなパッド
  - Homeボタン用の小さなパッド
- タッチパッド、Shareボタン、Optionsボタン用のシリコンボタンパッドを取り外す場合は、この手順を実行してください。それ以外の場合は、このガイドを続けて、標準的なボタン装着をします。

再組み立ての際には、フロントケースの切り欠きにパッドを合わせ、上から圧力をかけて固定します。方向パッドとアクションボタンパッドは、どの方向にも回転させることができます。ホームボタンパッドは、U字型の切り込みの開口部がタッチパッド側に向くように配置してください。

手順 23 — 残りのボタンを外す

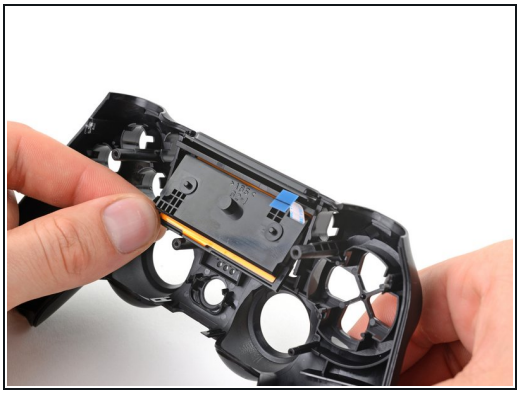
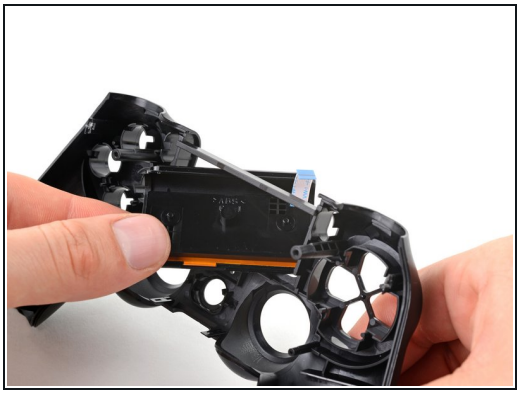




- 方向パッド、アクションボタン、ホームボタンをフロントケースから外します。

再組み立ての際には、アライメントのタブを使用して、各ボタンをその装着場所に位置合わせします。各ボタンは、その凹みと適切な向きに合わせて特別にキーが付けられています。

手順 24 — フロントケース


- タッチパッドの下側端を持ち上げます。
- タッチパッドを回転させ、フロントケースの切り込みからスライドさせて取り外します。
- これでフロントケースのみが残ります。

再組み立ての際、ケーブルがフロントケースの切り欠きの下に挟まらないように注意してください。

このデバイスを再組み立てするには、インストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。

e-wasteを処理する場合は、認可済みリサイクルセンターR2を通じて廃棄してください。

修理がうまく進みませんか？ベーシックなトラブルシューティングをするか、アンサーコミュニティに尋ねてみましょう。